

# 1. 教育目標と各ポリシー

## 1. 理念・目的

創価大学経済学部は、開学以来、建学の精神である「人間教育」「大文化建設」そして「平和創出」に基づき、グローバルな経済社会を担うリーダーの育成を目指してきました。とくに、人類の新しい経済のあり方を問う「人間主義経済」の理論的・実践的な研究は、創価大学経済学部が独自に担う使命です。

## 2. 教育目標

創価大学経済学部は、以下の3つの教育目標を掲げます。

- (1) 体系的な経済学教育を通して、問題発見・解決能力と論理的思考力を備えた人材を育成する。
- (2) 英語による経済学教育を通して、グローバル社会で役立つコミュニケーション力を備えた人材を育成する。
- (3) 人間主義に基づく経済学教育を通して、世界の平和と人類の幸福に貢献する人間力を備えた人材を育成する。

## 3. ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

創価大学経済学部では、学部教育目標に基づいて、以下の能力（ラーニング・アウトカムズ）を備えた人材を育成します。

- (1) 経済学を用いて、社会現象を複眼的視点から論理的に理解・分析することができる。
- (2) 数量的・統計的データを正確に理解することができる。
- (3) 日本・世界の経済・社会に関する知識を持ち、活用することができる。
- (4) 経済問題について、日本語や英語を用いて、他者の考えを正確に理解し、自らの考えを明確に伝えることができる。
- (5) 世界の多様性、および経済問題・社会問題の多面性を理解し、適切な議論を行うことができる。
- (6) 経済学の学修を通じて、自らの行動を律し、他者と協力しながら、目標を達成できる。
- (7) 社会の発展、人びとの幸福への方途を、経済学を用いて提案することができる。

こうした能力を育成するために編成された学部カリキュラムにおいて所定の単位を修得し、GPA基準を満たした学生に、創価大学経済学部は、学士（経済学）の学位を授与します。

## 4. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

創価大学経済学部では、学部が定めたラーニング・アウトカムズを達成するために、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成しています。

- (1) 経済学を用いて、社会現象を複眼的視点から論理的に理解・分析できるようになるために、まず、必修科目「ミクロ経済学」「マクロ経済学」で、経済理論の基礎を学びます。その後、中級レベルのミクロ経済学、マクロ経済学、さらに、「経済理論・統計学」科目群（クラスター）に配置された上級レベルのミクロ経済学、マクロ経済学を学びます。また、応用経済学の諸科目を履修し、経済学を用いた社会分析の具体的手法を学び、複眼的視点をもった論理的思考力を養います。
- (2) 数量的・統計的データを正確に理解できるようになるために、まず、必修科目「経済数学入門」「基礎統計学」で、数量的分析の基礎を学びます。その後、「経済理論・統計学」科目群（クラスター）に配置された、上級の「経済数学」「データ・サイエンス」「計量経済学」を履修し、より高